



名古屋グランパス

大学生消防団×SNS「#防災キックオフチャレンジ」 1/2



Story

クラブのホームタウンである愛知県はいつ大きな地震が起きてもおかしくないと言われています。また伊勢湾台風や東海豪雨等、歴史上水害に悩まされた地域でもあり、来る大きな災害への備えは大きな社会課題となっています。

実は名古屋市とクラブの象徴でもある「鯨」は防火の効があることから街を災害から守ると言われています。ホームタウンの社会課題であり、名古屋グランパスの「鯨」の役目を果たすため「防災」をテーマとした活動をクラブでは実施しています。名古屋市には「大学生消防団」という組織があります。消防団という地域の方々が参加されている組織をイメージしますが、名前の通り市内大学に通う大学生から構成される消防団です。

そんな大学生消防団の出会いは大学生からのお声がけでした。とあるイベントにクラブスタッフが参加したところ、「私は大学生消防団の団長です。ぜひグランパスと防災について連携したいです」とお話をいただきました。その後、マスコットのグランパスくんが「消防団サポーター」となり、㈱HITOTOWAと連携したディフェンスアクション等、様々な連携活動を実施してきました。

しかし、2020年、検討していた企画はコロナウィルスの猛威により全て中止になりました。コロナ禍の中、「リアル」の活動は出来ないけど、こんな時こそ防災の啓発は止めたいいけない！そうした声が大学生消防団から聞こえてきました。その想いに動かされ、いつ起きるか分からない災害への備えは重要であると信じ、ステイホームでアイデアを巡せました。

オンラインでの打ち合わせが再開されたのが7月頃でした。議論を交わす中、「コロナ禍の中、緊急時に避難所だけではなく在宅で生活できるよう『在宅避難』をテーマにしよう」「SNSで備蓄品の重要性を発信したい。参加型で楽しく学ぶ企画にできないか」少しずつテーマが見えてきました。

大学生消防団では公式ツイッターの立ち上げなど準備を進めてくれました。そして、全国でディフェンスアクションを展開している㈱HITOTOWAと共に企画を練り、「#防災キックオフチャレンジ」が出来上がってきました。

そして、ついに防災月間でもある9月に「#防災キックオフチャレンジ」がスタートします。ルールはシンプルに、「ボールタッチ等を楽しみながら、各自で用意しておきたい備蓄品、避難時の持出品を答えていく」としました。オリジナル備蓄品リストも作成し、消防団サポーターのグランパスくんが先陣を切って、チャレンジしました。

グランパスくんを皮切りに、大学生消防団でも自宅や近くの公園で様々な方法での見本動画を作成しながら継続的に投稿をしていきました。

しかし、動画再生数は増えているものの、投稿は伸びていきません。より拡散されるよう名古屋市の河村市長や名古屋おもてなし武将隊の皆様等にも投稿いただきながら、少しずつ投稿は増えていきました。

募集期間も終わり、MIP賞等の発表、そして防災講座を行なう「防災オンラインアカデミー」にも多くの方に参加いただき「#防災キックオフチャレンジ」は終了しました。MIP賞の景品は防災リュック。景品が届くとSNSで「この機会に備蓄品を揃えよう」という嬉しい声もいただきました。

2020年、私達の社会は「新しい生活様式」で過ごすことが必要になり、改めてサッカーは安定した社会の上でこそ成り立つのだと実感しました。いつ大きな災害が来てもおかしくないと言われている地域の中で、名古屋グランパスはこれからも様々な取り組みを通して、ホームタウンに貢献していきます。

【協働者の声】

○名古屋市大学生消防団 佐藤 綾

動画を作成する中、皆で協力して作り上げることができ楽しかったです。消防服が硬く見せてしまったかもしれませんが、より目についたかと思います。皆さんが備蓄品を確認するきっかけに繋がっていただければ嬉しいです。

○名古屋市消防局 安藤 修平

SNS上での活動経験がない我々にとって、チャレンジングな取り組みでした。動画の作成など試行錯誤しましたが、今後もこのような取り組みは防災を広めるために非常に有効であると考えています。皆さんと協力して「命を守る」ための新しい一歩を踏み出したことを誇りに思います。

またこの企画を通して、庁内でもグランパスがこんなに接しやすいクラブだったんだという声もありました。今まではプロのクラブだから一緒に何かできる存在ではないというイメージでしたが、それが一気に変わりましたし、地域に根付いて活動していく姿勢をととても感じました！これからもよろしくお願いします！

○㈱HITOTOWA 津村翔士

参加いただいた方のSNS投稿の中に「家に備えてないものがいっぱいあった。備えなきゃ」と言うコメントが多く見られました。普段は防災を意識されていない方であっても、クラブと協働することで、こういった意識の広がりやアクションの背中押しになることが改めてわかり、とても意義深い取り組みだったと感じています。

活動詳細情報はこちら


<https://nagoya-grampus.jp/news/sdgs/2020/0919post-1566.php>
<https://colojapan.asia/report/online-defense-action.html>



名古屋グランパス

大学生消防団×SNS「#防災キックオフチャレンジ」 2/2



活動場所

SNS

カテゴリー(SDGs)/取り組みテーマ



協働者

企業、行政、大学生消防団

協働者名

名古屋市大学生消防団、名古屋市消防団連合会、
名古屋市消防局、(株)HITOTOWA

